



震災の復興を願う飾りが多くみられました

入間山七夕まつり

狭山の夏の風物詩

1,300発の花火が夜空に



狭山観光大使を委嘱された浜田太一さん(タレント、右)おりぴい(中)と本紙「狭山の絵本」でおなじみ池原昭治さん(左)



柏原で取れたスイカとメロン
おいしいよ~

私の宝物 ...

今は亡き戦友を見送った海軍帽

昭和20年6月、特攻機に乗り込み、今まさに戦場へと飛び立つ戦友を見送ったこの海軍帽は、当時の記憶をよみがえらせてくれる私の大切な宝物です。機体を揺らし先に行くぞ！ありがとう」と言っているかのよう



山崎 一義さん
(広瀬在住)

な姿に、仲間とともに涙をこらえ、機影が見えなくなるまで海軍帽を振り続けました。そして8月、終戦を迎え、私の戦争は終わりました。

あれから66年の月日が流れ、戦後の混乱の中を必死に働き、家族を養い、そして小さな幸せを素直に喜べる時代になりました。志半ばで散って行った多くの戦友たちを思い、私自身生きていることが心苦しく感じたこともあり。しかし、今では、その戦友たちの分も人生を謳歌し、いつの日か人生の幕を閉じるとき、幸せな人生だったと言えるように暮らしていきたいと思っています。



次回、柏原にお住いの方を紹介し

ます。

特攻機を送り出す 帽ふれー！」の号令が今も耳に残っています



堀兼中学校吹奏楽部の皆さんの演奏。多くの方の協力でお祭りが盛り上がります

いからき自治会 新狭山ハイツ自治会

新狭山ハイツは、昭和48年～49年に建設された集合住宅32棟からなる690世帯の自治会です。緑化の推進と「ミニミニティー」活動に力を入れ、自治会報「いつニュース」は、自治会発足当初から休むことなく発行を続けています。

さて、市内の先陣を切って開催されるハイツの夏祭り。今年は7月16日・17日に開催しました。東日本大震災で亡くなられた方への黙とうを行い、被災者の皆さんを応援する取り組みとして、復興支援生ビールや東北のお酒を販売しました。また、節電に努めるとともに、開催時間も短縮し、例年より少し暗めの会場でしたが、熱気にあふれた一日間になりました。

姉妹・友好都市 見てある記

ワージントン・イン
アメリカ合衆国ワージントン市



同市のメインストリート、オールド・ワージントン通りの中で、ひときわ目を引く建物がワージントン・インです。



この建物は、1831年にコネチカット州出身の男性が建てた私邸が始まりで、その後、旅館となり、何度かの増改築を重ね、名称も変わりました。現在のヴィクトリア様式の外観になったのは1901年で、現在ではオハイオ州を代表する建物となり、狭山市民の歓迎会などもここで行われました。

現在、ホテル部門は終了し、レストランとパーティーのみの利用となりますが、一度は訪れる価値のある古き良きアメリカの歴史です。

公式モバイルサイトで市内の史跡を巡るコースを多数紹介しています。ぜひご覧ください。

狭山の史跡 宗源寺

所在地 笹井2丁目17番8号



同寺の本寺は関東三か寺の1つといわれた龍穩寺で、本尊の宝冠釈迦如来坐像は、市指定文化財です。

江戸時代初期に当地の領主だった土屋昌吉、土屋正久によって、堂宇が建立され、本寺第16世鶴峯禅師によって開山されました。寺になる前は宗源庵という草庵があり、弘法大師作の地藏菩薩像が安置されていたと伝えられています。

1月上旬に権現祭とどんどん焼き祈禱、4月8日にお釈迦さま花まつりが行われ、笹井囃子も上演されます。